

エンゲージメント活動実績 2018年(1~12月)

2019年3月31日時点

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社およびその関係会社(以下「ティー・ロウ・プライス」)は、世界中の顧客のために資産を運用しており、長期視点に基づいたアクティブ運用戦略を主に提供しております。よって、投資先企業のアクティブなモニタリングやエンゲージメントは私どもの運用プロセスの中核の一部を担っています。

ティー・ロウ・プライスでは投資判断を各投資先企業毎に行っていることから、対話をする企業特有の問題点、たとえば長期的な業績、経営戦略、競合性、情報開示、経営陣、ガバナンス、報酬、環境や社会的サステナビリティ、といったトピックについてアナリスト、ポートフォリオ・マネジャーといった運用担当者主導にてエンゲージメントを行っています。

具体的には、決算説明会、経営陣および取締役との面談、IRとの面談、カンファレンス、施設・工場見学、など様々な形態を含み(個別またはグループ等)、グローバルでは毎年5,000を超える数の企業とコンタクトを行っています。

日本株式について、2018年に行った経営陣とのミーティングの合計は約1,400件です。(カンファレンスコールは除く。)

エンゲージメント例:

上場区分/業種	テーマ	内容
(一般)	経営陣へのアクセス	一般的に首都圏以外に拠点を置く企業の経営陣のアクセスにつき改善を求めています。
(一般)	財務戦略	一般的に財務戦略を意識した企業運営へのシフト、営業利益を中心とする運営から資本効率など財務目標を意識した運営、株主への還元を考えた運営へのシフトを働きかけています。
(一般)	開示	一般的にIRミーティングにおいて、事業および財務戦略に関する開示、さらに海外投資家に配慮した言語や同時開示など、開示のさらなる向上を求めています。
東証一部/食品	取締役の選任	取締役の選任に対し、候補者の実績について適切な開示を行う

		よう促しました。
東証一部/化学	経営陣へのアクセス 開示	同社の経営陣へのアクセスおよび売り上げの大部分を占める海外事業の詳細について開示を要求しました。
東証一部/化学	開示	一部製品で検査データの改ざんが発覚。当該企業より経緯および改善案についてヒアリングを行ったほか、取引先企業および同業他社に対するヒアリングも実施しました。
東証一部/機械	開示	子会社の不適切会計により決算報告が遅延しておりますが、当該企業より、当該子会社の売り上げにおける比率など適宜説明を受けました。
東証一部/電気・ ガス	環境	同社の再生エネルギー事業について意見交換を行いました。
東証一部/情報・ 通信	財務戦略	同社の資本配分は非効率であると考えており、買収案件も株主の利益には通じにくいと考え再考を促しています。
東証一部/情報・ 通信	財務戦略	株主を重視し、資本効率の改善方法について経営陣と定期的な意見交換を行っています。結果同社の資本効率は改善し、利益増につながっています。
東証一部/情報・ 通信	財務戦略	商品の値下げ方針に対し、原則として株主を重視した企業運営を行うよう提言しました。
東証一部/小売	経営陣へのアクセス 開示	同社は非常に魅力的な投資対象ながら、I Rが設置されておらず情報および経営陣へのアクセスが不十分であり、調査が十分に行えないことからI Rの設置を提案しています。
東証一部/サー ビス	財務戦略	海外買収案件を受けて、国内会計基準では十分な評価が行えないことから国際会計基準の適用を提案しました。同社が見送ったことから株価が下落しているため、継続して提案を行っています。
東証一部/サー ビス	取締役の選任	創業メンバー以外による社外取締役の増員を提案しています。

以上